

1- (1) 熊谷守一展の開催について

熊谷守一展開催概要

- 名称：「～岐阜、豊島、ゆかりの地をつなぐ～ 熊谷守一展」
- 期間：令和3年12月4日（土）～12月19日（日） 16日間
- 場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのギャラリー

(1) 開催のきっかけについて

- 熊谷守一(1880～1977)は、現中津川市付知町の生まれ。初代岐阜市長も務めた父・孫六郎(まごろくろう)が岐阜市で製糸業を営んでいたことから3歳から17歳で上京するまで、ぎふメディアコスモスのすぐ近くに住んでおり、岐阜市にゆかりの深い画家である。
- 昨年2020年が守一の生誕140周年であったため、ゆかりの地である岐阜市と晩年を過ごした東京都豊島区が連携して展覧会の開催を計画。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、岐阜では開催を今年度に延期した。

(2) 展示内容

- 豊島区には守一の遺族から寄贈された遺品などがあり、昨年「熊谷守一のアトリエにあったもの展」が10月27日～11月1日に豊島区の自由学園で開催された。今回はそれを借用して展示。
- また、岐阜市は熊谷守一の作品を4点所蔵しているが、普段は市民の目に触れることがないため、それらを遺品とともに公開。その他、羽島市不二竹鼻町屋ギャラリーや岐阜高校、個人から借用した約20点の作品を展示。
- その他、熊谷守一と同時期に活躍していた岐阜ゆかりの画家などの作品約20点を紹介。

(3) 行事

- 開場式 (あいさつ、テープカット等)
 - 日時：令和3年12月4日(土) 9:30～
 - 場所：みんなの森ぎふメディアコスモス みんなのギャラリー入口
 - 出席者：岐阜市長、岐阜市議会議長、(公財)ぎふしん記念財団 他
- 記念対談「アート・文化は人とまちを活かす」
 - 日時：令和3年12月18日(土) 14:00～15:00
 - 場所：みんなの森ぎふメディアコスモス ドキドキテラス
 - 対談：豊島区長 高野之夫(たかのゆきお)さん
岐阜市長 柴橋正直
アート・文化資源の利活用によるまちの活性化を、岐阜市と豊島区それぞれの取組みを例に考える対談。

多くの方に足を運んでいただき、熊谷守一という偉大な郷土ゆかりの画家を知ってもらうとともに、「モリカズの世界」を味わってもらいたい。